

「平成29年度第5回熊本市大規模小売店舗立地協議会」議事録（要旨）

I 日 時 平成30年2月15日（木） 10:00～11:00

II 場 所 熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室

III 委員名簿 別添協議会資料のとおり

IV 事務局 熊本市経済観光局産業部商業金融課

V 次 第

1 開会

2 議事

（審議事項）

「えきマチ1丁目熊本」の変更届出に対する本市の意見案について

（報告事項）

「サンリブ清水」「ドラッグコスモス八反田店」現地確認について

「ドラッグストアモリ京町店」「マルショク健軍店」再現地確認について

3 閉会

VI 協議結果概要

事務局より届出概要、住民等・学識経験者・関係各課からの意見・要望事項の提出状況、市意見案と考え方について説明し、協議を行った。

(ア)「えきマチ1丁目熊本」に対する意見について

〔事務局説明〕

- 大規模小売店舗立地法の目的及び配慮すべき指針を勘案した結果、届出に対する市の意見はなし。
- ただし、学識経験者及び関係各課の指摘内容に対する設置者の対応を踏まえ、以下3点の留意事項を付記。

(1) 騒音に関する苦情等が発生した際には、速やかに関係機関と協議の上、発生源対策を含め誠意を持って対応すること。

(2) 樹木の植栽を含む緑化については、既存施設の緑化部分の維持管理に努めていくこと。

また、今後の熊本駅一帯の再開発においては、更なる緑化活動の推進が図られるよう留意願う。

(3) 本市の「大型店の立地に関するガイドライン」に沿って、一定規模未満の大型店に対して求めている地域貢献について自治会や商工会等、地元の意見収集に積極的に取り組むこと。

[質 疑]

- 大型複合施設などについても、街並みづくりについては適用されるのか。地域の店舗等であれば可能だと思うが、大型複合施設の場合では、どのように整合性が図れるのか、確保されるのか。(荒井委員：熊本学園大学教授)

→確かに街並みづくり等の配慮については駅ビルなどの複合施設と地域の店舗と同様に考えるのは難しいと考えている。(事務局)

- 街並みづくり等への配慮(届出時の様式)については、国で定めている様式なのか。協議会の方で変更する等一定の裁量は許されるのか。(荒井委員：熊本学園大学教授)

→確認させていただきたい。(事務局)

- 出来ないならば出来なくても構わないが、今後どのように整合させていくか検討する必要がある。(荒井委員：熊本学園大学教授)

→届出書に対する指摘事項において、担当課である商業金融課が街並みづくり等への配慮ではなく、地域貢献への取り組みを積極的に行うよう指摘したことに対して企業側からの回答は「熊本駅周辺整備事業に関しても賑わいある『まちづくり』の観点から、積極的に当社が行う駅周辺開発等で貢献していきます」といただいている。荒井先生がおっしゃったように法的に街並みづくりをどう仕様書とするかは整理させていただきたいが、企業側は大型商業施設があるけれども、地域貢献策の中で街並みづくりについては取り組んでいく意思があるという風に解釈できるのではないかと思う。(会長)

- 駅前にあるくまもと森都心ビルも本市が建設した建物であり、駅前の賑わい創出を目的として建設されたものである。その中に、商業・経営関係が入っており、そのような状況の中で市としても商業関係へまちづくり・地域貢献についてもガイドラインに沿って取り組んでいくよう促していきます。(会長)

- 確認だが、留意事項の(2)で今後の駅ビル再開発のことにも触れている。今回は高架下ということで、樹木の植栽は難しいが、今後の再開発においても樹木の植栽をお願いするなど、具体的に盛り込むことは可能か。(環境共生課)

→今回の留意事項(2)が2文に分けて記載しているが、最初の文章については既存施設の緑化に努めること。2つ目の文章については、今回の変更とは直接関係のないものになるので、具体的に記載するのはあまり良くないのではないかとということで今回は具体的には行っていない。(事務局)

●今回の会議で委員の指摘を受けて、留意事項を変更すること自体は可能か。(会長)

→可能である。(事務局)

●今回の会議でいただいた意見をもとに再度事務局の方で修正を行うようにしたい。(会長)

●2つ目の文章も1文目と同様に「樹木の植栽を含む」という文言を追記すればよろしいか。

(事務局)

→1 文目に「樹木の植栽を含む」とあるのが、現在は樹木の植栽が無いので、「樹木の植栽を含む」削除し、2 文目に「樹木の植栽を含む」を追記していただければ良い。(環境共生課)

[総括]

本件について、市の意見はなし。

今回いただいた意見を基に留意事項を修正し、意見案に記載の内容を設置者へ通知する。

(イ)「サンリブ清水」「ドラッグコスモス八反田」現地確認に対する意見

[事務局説明]

●平成29年8月に開催した第3回大規模小売店舗立地協議会にて審議した「サンリブ清水」並びに平成29年10月に開催した第4回大規模小売店舗立地協議会にて審議した「ドラッグコスモス八反田」の2件について、開店後の現地調査確認を実施。

●「サンリブ清水」については、特に問題なく運営できており、樹木の追加植栽や駐車場内のお年寄り等に配慮した「思いやりスペース」等のカラー舗装を実施するなど一定の配慮が確認できたため、今回の調査にて現地確認を終了する。

●「ドラッグコスモス八反田」についても、緑化活動に努めていることが確認でき、他の留意事項についても特に問題が無かったため、今回の調査にて終了とする。

[質疑]

なし

[総括]

「サンリブ清水」「ドラッグコスモス八反田」の2件については、今回の報告を以って終了。

(ウ)「ドラッグストアモリ京町店」「マルシヨク健軍」再現地確認に対する意見

[事務局説明]

●「ドラッグストアモリ京町店」については、前回現地確認時からの継続確認事項として

①緑化の実施状況②その他の小売業者についての2点あり。

①緑化の実施状況については、植栽済みの低木も順調に成長しており、車止め付近については車両の都合上これ以上の植栽は難しいとのことから、植栽済みの低木の今後の更なる成長に期待することとする。

また、②その他の小売業者については、既に平成29年9月22日付け届出済み。以上のことから、今回の調査を以って、現地確認を終了する。

- 「マルシヨク健軍」についても、緑化が継続確認事項となっていたが、今回調査時には、芝張りにて緑化してある箇所に6本の中木の植栽実施されていたため、今回の調査を以って終了する。

[質 疑]

【現地確認について】

- マルシヨク健軍については、現地確認して設置者へ緑化を促した結果樹木の植栽がなされたのか。それとも、元々実施する予定だったのか(会長)  
→元々計画はしていない。駐車場を月極にするなどの変更があったため、外の箇所で緑化を実施するよう指摘事項で促した結果、施されたもの。(事務局)
- マルシヨク健軍については今後もっと促していけば、緑化が進むのか。(会長)  
→こちらに関しては緑化可能な土地がほとんど無いため、これ以上は難しいかと考える。(事務局)
- 現地調査は開店後半年ぐらいで行うのか。その際に取り組みが不十分であれば再度確認に行くといことでよかったか、最初の取り組みについて確認したい。(磯田委員：熊本高等専門学校嘱託教授)  
→基本的には開業後1・2ヵ月後で現地確認を実施。そこで不十分であれば時間を空けて、再度現地確認を行うようにしている。(事務局)
- 不十分であれば、認められるまでずっと継続確認していくといことでよいか。  
→そのとおり(事務局)。

[総 括]

「ドラッグストアモリ京町店」「マルシヨク健軍」の2件についても、今回の報告を以って終了。

(エ) 大型店舗の地域貢献策事例アンケートについて

- 前回協議会で、留意事項に「大型店舗に求める地域貢献策」付す際に、具体事例を挙げたほうが設置者にも分かりやすいのではないかと、という指摘を受けたことから、平成24年度以降に届出のあった店舗に対し、アンケートを実施予定である。アンケート内容はガイドラインに則って作成しているが、内容等に関して意見が無いか伺いたい。

[質 疑]

●4 地域雇用確保への協力に関して

②安定的雇用の確保とあるが、これは期間の定めの有る無しで判断するのか。非正規雇用・正規雇用ということなのか。また、③障がい者雇用の促進については、企業全体で促進しているかということによいのか。事業所単位では難しいのではないか。(荒井委員：熊本学園大学教授)

→ガイドライン上では②安定的雇用の確保については「従業員の採用にあたっては出来るだけ正社員として雇うよう配慮するように」と明記してある。

③障がい者雇用の促進については、「障がい者の雇用の促進等に関する法律を遵守し、障がい者雇用促進に努めるよう配慮すること」と記載している。(事務局)

●事業所だけでは障がい者雇用については答えられないのでは。(基本的には企業全体のうち何割障がい者を雇用しているかという話であれば答えることは可能だが。)(荒井委員：熊本学園大学教授)

→今回のアンケートは、既に営業している店舗に対して実施し、設置者と営業者が異なる場合もあれば一致する場合もあり、確かにどこまで求めるかは難しいが、あくまで該当部分があればお書きくださいという文言を依頼文の中に盛り込んで実施したいと考えている。(会長)

●可能であれば、震災時に何か地域貢献的なことを実施したかどうかを追記して欲しい。(磯田委員：熊本高等専門学校嘱託教授)

→今指摘いただいた点は、今回のアンケートの 6 地域防災への協力を該当するが、こちらに記載すると見逃されてしまいそうなので、別枠で設けたいと思う。(事務局)

●アンケートは何時発送して、その後どのように取り扱うのか。(会長)

→来週中を目処に発送し、3月いっぱい集計したいと考えている。(事務局)

●調査対象は何件ほどあるのか。(荒井委員：熊本学園大学教授)

→平成24年度以降に審査した店舗が40件ほどある。(事務局)

●3月末には調査結果を委員の皆様にご送るということによいか。(会長)

→そのとおり。(事務局)

●アンケート結果をいつからどのように反映させていくのか。(会長)

→来年度以降の審査案件を対象に今回集約した具体例を留意事項などにその都度記載していきたいと考えている。(事務局)